



佛教大学通信教育部公開講演会 入場無料・申込不要

教員養成の今を考える!

全国学力調査の結果をみると二年連続して秋田県の学力が最上位を占めていることが明らかとなっています。なぜ秋田の学力が高いのかという素朴な疑問は教育関係者の中でも大きな関心を集めています。本講演では、学力の構造について考えるとともに秋田の教育の仕組みが、なぜ学力向上に効果的なのかを教育的な視点から読み解いて見ましょう。

講演① 13:00~14:00

講演② 14:10~15:10

秋田の子どもたちの学力は
どうみえるか

家庭・地域が支える
秋田の子どもたちの学び

佛教大学教育学部教授 原 清治

はら きよはる / 専門は教育社会学、教員養成(とりわけ学力問題、いじめなどの学校病理に関する研究が中心。最近「効果のある学校」論や学校評価にも取り組む)。所属学会は日本教育社会学会、日本教師教育学会など。最近の著書に『深く考え、実践する特別活動の創造—自己理解と他者理解の深まりを通して』(学文社、2009)、『教師 魂の職人であれ』(ミネルヴァ書房、2009)、『使い捨てられる若者は格差社会の象徴か』(ミネルヴァ書房、2009)



秋田大学教育文化学部 附属教育実践総合センター教授 浦野 弘

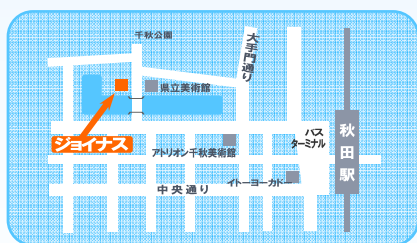
うらの ひろし / 専門は教育工学、教育方法学、科学教育。研究課題は授業研究や校内研修の改善、メディア・リテラシー。平成19~20年度文部科学省「専門職大学院等教育推進プログラム(教育養成)」事業テーマ「実践知の伝承と創造」のプロジェクトリーダー。平成20年度教員研修センター委託「教員研修モデルカリキュラム開発プログラム」事業テーマ「実践知の伝承と創造を促す校内研修プログラムの開発」の統括責任者。



対談 15:30~17:00

子どもたちの学力向上のヒントを探る

秋田の教育の仕組みがなぜ学力向上に効果的なのかをおふたりの先生に教育的な視点から読み解いていただき、これからの教員養成にどう活かしていかなければならないか、これからの教員は何に気づいていかなければならないか...を探ってみたい。



とき 平成21年6月20日(土) 13:00~17:00

ところ ジョイナス(秋田県生涯学習センター分館)

秋田市千秋明徳町2-52 (JR秋田駅より徒歩10分)

